



会 長 浅岡 康雄  
 副会長 宮台 均  
 幹 事 関 敏幸  
 副幹事 市川 雅史  
 会長エト 加藤 伸一

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 例会場 オークラフロンティアホテル海老名  
 海老名市中央2-9-50 TEL046(235)4411  
 事務局 海老名プライムタワー10階  
 海老名市中央2-9-50 TEL046(233)5122  
 編集 飯島 博之 小島 美智子 長浦 文夫  
 長本 享一

## 第559回例会

2007年(平成19年)8月23日

### 会長 挨拶



甲子園の高校野球も終わり、私立の学校が多い中、公立の佐賀北高校が1日3時間の練習で優勝しました。もちろん自主練で素振り等してるようですが、特待生制度を考えさせらることになりました。本日は吉岡ガバナー補佐をお招きしてクラブ協議会です。よろしくお願いいたします。

### 幹事 報告



### 委員会報告

《親睦委員会》  
 川島委員長  
 宿泊例会のご案内  
 日時 9月27日(木)~28日(金)  
 行先 上高地・飛騨高山

### 《ガバナー事務所からのお知らせ》

- ★ガバナー月信 No. 2 (8月1日)号が届きました。
- ★ 米山奨学セミナー開催の案内がまいりました。  
 日時：9月12日(水)  
 14:00~16:00 セミナー  
 16:00~17:00 カウンセラー情報交換  
 場所：藤沢産業センター8F
- ★ 米山奨学委員会卓話日程表がまいりました。
- ★ ロータリー米山記念奨学会の多地区合同奉仕活動について賛否の問い合わせがまいりました。
- ★ ハイライトよねやま90号がPCメールにて配信されました。

### 《週報受理》

大和中RC・寒川RC・相模原RC・相模原グリーンRC・相模原南RC

### 《例会変更のお知らせ》

海老名RC 8/27(月)→8/26(日) 家族親睦例会



### 559回例会 出席報告

会員数	出席計算 会員数	出席	出席率	557回 修正出席率
32名	32名	23名	71.8%	81.25%

### 今日のお花



## クラブ協議会

### 第6グループ

吉岡 敏 ガバナー補佐

皆さん、こんにちは、今年度第6グループガバナー補佐を務めますので宜しくお願い致します。

国際ロータリー2780地区の小佐野ガバナーの補佐役として、恒例のガバナー公式訪問1週間前の訪問にお邪魔しました。

RI会長のテーマ、それを受けての小佐野ガバナーの地区方針をいかに正確に伝えるかを考え、原稿を用意してきましたので読み上げさせていただきます。

本年度、2007～2008年度RI会長のウィルフリッド・J、ウィルキンソン会長はカナダのオンタリオ州トレントンRCの所属で公認会計士です。

入会は1962年ですので今年で丁度45年のロータリー歴となります。

クラブ会長、地区ガバナーをはじめRIの副会長、理事、財団管理委員等多くの役務を歴任されておりますし、シカゴでの国際ロータリー100周年年次大会の議長も務められました。

また、インドの「はしか免疫プロジェクト」へのロータリーボランティアとしての参加や、「アフガニスタン難民支援プロジェクト」の副委員長としての兵士による護衛を伴った現地活動にも参加されています。

今年の2月のサンディエゴでの国際協議会でウィルキンソン会長は冒頭にこう述べられています。「ロータリーという組織は、平凡な人間を非凡な人にするというマジックを持っている組織である。」「カナダの一公認会計士が多くのローアリアンとの実践によって、大きな奉仕活動の素晴らしい成果を挙げることが出来た。このことはまさにロータリーマジックです」といわれ、本年度のロータリーテーマとして

「ROTARY SHARES ロータリーは分かち合いの心」と発表されました。

そして分かち合いの心には二つの意味があると述べておられます。

ひとつは「ロータリーは分かち合う」であり、もうひとつは「ロータリーを分かち合う」です。

前者は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい能力をロータリーという組織に分かち合せて大事な事業を遂行しています。

後者は素晴らしいロータリーという組織を出来るだけ多くの人と分かち合いたいということです。

ウィルキンソン会長は「ロータリーの真髄は愛であり、その発露が親切心である」と説かれ、ロータリーにおける分かち合いとは、「自分自身にとって不要となったものを施すことではなく、人のためにわれを忘れて自らを奉げることだ」と大変崇高な志を述べておられます。まさに、2005年～2006年度のRIテーマ「超我の奉仕」の実践を説いておられるのだと思います本年度RIテーマを受けて小佐野ガバナーは本年度の地区方針を発表されました。

その前に小佐野ガバナー略歴をご紹介するのが順序ですが、当クラブの委員会活動計画書4ページに記載されていますので、重複を避けて、別な面から小佐野ガバナーの紹介をしてみたいと思います。

ガバナーは慶應義塾大学政治学科の卒業生です。大学入学のとき父君からこう言われたそうです。「大学は出しまえば、トップもビリも同じ卒業生だ。だから、4年間の学費は出すが、それ以上はびた一文出さない」

ガバナーの祖父は横須賀商工会議所の初代会頭を務められ、父君も永く会頭を務められたそうです。

さて、ガバナーの大学時代ですが、慶應義塾大学の同窓会は三田会といい、全国に支部があります。その支部が毎年資金稼ぎに音楽界やダンスパーティを主催していたそうですが、その出演者の斡旋をして全国を飛び回っていたそうです。

また、試験前には過去5年間の出題をを青焼きでつくり、各教室を売り歩いて大いに商才を発揮したそうです。

## 閑話休題

小佐野ガバナーの今年度地区方針について説明します。

### ① CLPの導入

効果的なクラブ運営のため「CLP」の導入を各クラブで進めて頂きたい。もちろんCLPの導入は各クラブの意思にあたります。しかし地区は2002年から導入された「DLP」の運営のさらなる発展のために、また、地区が率先垂範して「CLP」を推進していくために地区組織を変更して7つの委員会を設置いたしました。どうぞ参考にして頂き、それぞれ自分のクラブに合った最も効果的な組織にされ、CLPを推進してください。

### ② 会員増強

当2780地区にはかつて3500人を超える会員がいました。現在は2500人未満となっています。

当地区は純増100人を目指し、会員40名未満のクラブは1名純増、40名以上のクラブは2名純増をお願いします。

RI会長の方針により新会員を推薦した会員にはスポンサーピンの贈呈があります。

### ③ 広 報

地区にとって有効なプログラムの適切な広報を目指してください。

R財団の地区補助金を使った、地区の方がなるほどと思うプログラムを実践して、その広報を行うことで会員増強につながります。

### ④ 新世代育成

紛争のない世界の実現のため、世界理解、世界平和実現のための人材育成に、会員皆様のご協力をお願いします。

ローターアクト、インターアクト、国際親善奨学生、世界平和フェロー、米山奨学生、青少年交換留学生、GSE等です。

そのためにR財団に180ドル、米山奨学生に2万円をお願いします。

皆さんが3年前にR財団に協力された年次寄付と恒久基金の利息の50%が、地区財団活動資金(DDF)として活用でき、その配分は地区が決定いたします。

地区社会への活発な奉仕活動を推進するために、地区補助金として、各クラブが実施する地区社会への有益な奉仕活動に配分します。

本年度地区補助金は総額2万ドルを予定しており、本年9月末日までに申請のあった地区奉仕プログラムを審査して、1位に5000ドル、2位3000ドル、3位に2000ドル、そして10プログラムに各1000ドルを地区補助金として配分します。

### ⑤ 強調事項

前年度の強調事項を引き継いだウィルキンソン会長のメッセージを受けて、小佐野ガバナーは、水保全、保健、識字率向上、ロータリー家族という強調事項の具体的実践を呼びかけています。

しかしこれらの多くは、現在の日本では問題として余り意識されていません。でも、視野を広げ、角度を変えて見ればいろいろな問題が見えてきます。ロータリアンとロータリー家族の積極的な活動と連帯をお願いします。

